

第30回全国手話通訳問題研究討論集会 in



速報10号

お詫び

速報8号販売紹介で「なかまの里」と記入されておりましたが、正しくは「**あいらび工房**」でした。すみませんでした。

速報はホームページで見れます。

<http://www.daicyokyo.jp/zentsuken30th/>

Facebook もリンクできます。

<https://www.facebook.com/zentsuken30th>

各分科会報告

～12分科会「手話通訳者の設置・派遣について」～

7本のレポート、全国各地でさまざまな実践されてきたまとめです。

これからもこうした実践を交流し、教訓を共有しあえる場がとても大切だと痛感します。

やはり全国の実践に学ぶところは多いと実感しました。

法・制度の充実は重要ですが、不備なところから整備していくと取り組みを学んでいくことが大切だと思いました。司会2人

全通研集会で参加したのが初めてです。

第12分科会は、私が住んでいる市の手話通訳派遣制度がまだ充分されていないので、他の県又は市町村の手話（奉仕員）の情報を求めて参加しました。自身も、手話奉仕員、通訳者派遣事業運営委員長を務めており、それぞれの課題を見つけ、解決できる様に取り組んでいきます。

それぞれのレポート内容がすごく参考になりました。新潟 一般

～13分科会「手話を広めるための取り組み」～

これまで13分科会で積極的にレポート発表してきた愛知（2本）、札幌、山梨からの発表。残念ながら山梨はこの悪天候のため不参加。愛知からの2本のレポートは、いずれも日ごろ身近な生活の中で実践してきた内容。“豊橋市の社会資源を活かした取り組み”は、災害時の避難所を想定した「絵カード」の作成など、ろう者だけでなく誰にもわかりやすいユニバーサルデザインと想った。

“地域のイベントにろう者と一緒に参加しよう”は「一緒に」がキーワード。一般の地域で行われる楽しいイベントにろう者と一緒に参加。手話での会話が自然な形で理解を広げている。

札幌の“手話教室開催とその課題”は、学校や銀行、病院などでの手話教室に講師を派遣している。「独自のテキストやDVD」は中身をぜひ見たいと思った。長年の活動の積み重ねが感じられる取り組みだった。岩手 司会

本日は大雪の影響で、レポート発表4本予定が3本に減ってしまったのは残念。

豊橋市のとりくみ、地元で防災とりくみをつづけている私たちにとっても大変参考になった。この事例をもとに、地元でも継続していきたいと思っている。長野 一般

レポート①

昨年に引き続き、素晴らしい取り組みを聞くことができた。自分の地域でも防災委員会を立ち上げるが、参考にしたい事がたくさんあり、勉強になった。

レポート②

地域に根づいた活動の報告でした。

ろう者と健聴者との良い関係が築けていると感じた。「両輪」よりも「四輪駆動」で活動していきたい！

レポート③

地域に合わせた手話教室の開催は素晴らしい取り組みだと思う。

その分、講師の負担は大きいのだろうと感じた。静岡 一般

～9分科会「手話サークル」～

冬集会是3回目の参加です。

近畿大会が奈良であった時に通訳をし、そのつながりで今日は来ました。奈良 健聴 男

夏冬あわせて集会への参加は6～7回かな。集会に来ると、様々な情報が入り、全国の取り組みも分かるので、それを地元で持ち帰り活かします。

千人を超える参加者で大阪のパワーを感じます。いろいろな人と出会えるのも、この大会の魅力です。滋賀 健聴（コーダ） 男

集会には初めて参加します。

ずっと来たいと思っていましたが、なかなか叶わず、今回やっと参加することができました。

知らないことがいっぱい参考になりますし、手話を見せてもらい勉強になりました。奈良 健聴 女

大阪には初めて来ました。夏集会是何度か参加しましたが、冬集会是1回目です。

今朝、大分から新幹線に乗り、新大阪まで4時間ほどで着きました。

友達と一緒に参加しました。大分 健聴 女

分科会不明

初めて大阪に来ました。

雪の影響で電車が少し遅れましたが、大丈夫です。千葉 健聴 女

～7分科会「医療」～

京都市、城陽市から参加のお二人は登録手話通訳者に研修費が一人分出るといことで、公費で参加しています。その代わりに報告者を書きます。

冬集会是6～7回目の参加です。京都 健聴4名

忙しいので近隣の冬集会だけ参加しています。

30年前の大阪集也会も参加（その時の分科会は「手話」分科会）で激論になりました。今回の大阪は「医療を」を選び、やっぱりもめ・・・ていません（笑）

京都 健聴 男

第11分科会「聴覚障害者関連施設」

聴覚障害者の施設は建設するまでに大変な準備が必要だと思っていましたがその後の運営方法や活動内容を発表していただき、とても参考になりました。愛知県 一般

第12分科会「手話通訳者の設置・派遣について」

研究レポートが7つあり、各地域でのそれぞれの活動に敬服します。地域によって行政の対応に格差があることを痛感しました。行政に対して我々の運動をどのように働きかけていったらいいのか日々模索しているところです。各地域での成功例を参考にできたら...とっています。2日目の活発な意見交換に運動のヒントがあればと期待しています。静岡県 一般

初めて全通研に参加しました。今年応用過程を終了したばかりで、手話の読み取りが大変です。分科会と聞いて講演会のような雰囲気想像していました。討論会と同じように意見が飛びかっているのを見てたくさん勉強することがあるのだと分かりました。自分も早く討論に加わりたと思いました。聴者の発言の時はピンマイクがあれば良いと思いました。（声+手話なので）富山県 一般

第3分科会「手話通訳者の専門性を高めるために」

討論集会には20回20回くらいは出席しています。協（2/16）の午前中の討論で全国的に司法ネットワークが必要だと実感しました。地域でつみあげた実践例は財産だと思いますので各地の取り組み方に学びたいと思います。とても有意義な討論ができて参考になります。北海道 一般

第5分科会「専門学校での手話講座」

今回で3回目の参加となった。担当している学校種も専門学校、高校、短大、大学と様々である。昨日のレポート発表は高知県の前田真紀さんが担当されほぼ毎日の様に指導にたずさわっているという内容であった。手話辞典に聴協や情センの電話番号を書かせ団体とのつながりをもたせていると聞き良いアイデアだと思った。授業のみで終わるのではなく今後につなげていける工夫も学ぶことができた。静岡県 一般

第5分科会「専門学校での手話講座」

昨日、今日参加をしてすごく講師としての自身が出ました。専門学校での講師は私一人で研修などもなく悩みがたまるばかりでした。今回自分の悩みが少しでも楽になりさっそく実施してみたいと思いました。冬の全通研が最後となるととても残念です。出来たら過去に戻り全通研に参加したかったと思った。司会の前田さん長谷川さんおしてスタッフの皆様お疲れ様です。鳥取県 一般

主催：一般財団法人全日本ろうあ連盟／一般社団法人全国手話通訳問題研究会

主管：社団法人大阪聴力障害者協会／大阪手話通訳問題研究会

各担当者会議報告

書籍担当者会議

書籍、DVDなどの普及にはどこも大変苦労されていました。運営委員が機関紙におすすめ図書などの原稿を載せたり、あらゆる行事とうまく連携して努力されていました。技術だけでなく、何を、どんな風に学んでいくのか、将来の手話通訳者像をイメージして、真剣に考えねばと感じました。司会

山形氏のお話しは、しっかり頭に入れ、支部で報告&工夫&販売にもっと力を入れて参りたいと思いました。各支部の取り組みも参考になりました。ニーズをつかみ、工夫することの大切さ。東京の新刊の紹介、とてもよかったです。お土産ができました。ありがとうございました。一般



聴覚障害者の医療に関心を持つ医療関係者のネットワーク

名称が長いので略して「聴障・医ネット」。夏・冬集会の時にあわせて行われて来たが、冬集会後としては今回が最後。今回は30名弱の参加があり①東北ブロックの体の健康ワークショップ②東日本大震災関連会議の報告③障害者歯科学会シンポジウムの報告。

また次年度から年1回になることもふまえ、今後のことなども話が出た。「医療」の分科会と両方に参加する人も多く、集会が1回になり分科会の内容なども変更になるなどから、聴障・医ネットの今後についても話し合われた。願わくば、今のように存続できることを！



ここ数年、医療関係者のつどいに参加しています。自分自身は医療従事者でないですが（介護福祉士）地元での医療班の活動に活かせる情報を得たい、あわよくば介護も結びつけたいと思っています。今回は、「東北ブロック手話通訳者の身体健康WS」、「東日本大震災関連会議の報告」「障害者歯科学会シンポジウム報告」の話が聞けました。いずれも医療、介護

の活動、また本職にも生かせる情報がありました。医療の場面で、「通訳する側」、「通訳してもらう側」の両方の面から、いろいろ考えることができました。一般

健康対策部担当者会議

「夏集会で検診が廃止になる」ということについて地元では、検診をしてくれる医師を探すのが難しい中、夏集会で検診を受けたいと思っている人達の受け皿がないまま廃止になってしまうのは残念です。検診ができる医師のネットワークぜひ作ってほしいと思いました。

聴覚障害者の制度は進んできて、通訳者は増えていないことで、以前の「完全参加と平等」のときに倒れる人が増えたが、それと同じ状況になるのではという森川部長の話聞いて通訳者の意識も、「できないことはできない」と言えるようにかえていかないといけない。そのためには、全日ろう連の協力と理解が必要と思いました。今回も参加できて良かったです。



手話協力員交流会



12人の参加、手話協力員と関係者、三重のハローワークの様子を聞き、各地の様子を話し合いました。企業でろうあ者と共に働く人の話があり、貴重な内容でした。聴こえない不便さを理解した人がいる職場は企業同士でも対応を伝えたり、ハローワークとの良い関係もろうあ者の職場定着につながっていると知りうれしかったです。初めての自立交流会、もっと話したいと参加者でメールでの

情報交換を約束しました。来年、また話せるように1年間様々な取り組みにトライします。

それぞれの違う立場での意見を出し合い、話し合いを行いました。手話通訳の委嘱の助成金について10年間しか使えない、ろう者が勤務し続けるまで使用できたらいいのに・・・

手話協力員の働き方もまちまち面接、定着指導にも行ける、いけない（窓口のみ）とある他いろいろ話し合うこのような場はこれからも続けたいと意見があり、メーリングリストなどを作成し、これからも繋がりをもちたい。

みなさんが賛同し、意見がまとまりました。とても良い機会だと思いました。来年もよろしくお祈りします。

U-35のつどい

U-35の組織化に向けて設立準備委員会が始動するという話は私自身も嬉しく思った。



地域によっては活発にU-35の活動をしているところもあったり、北海道のようになかったりと実情は様々だが、組織化されることで次世代会員の横の繋がりがより強固になるのではないかと期待されるなと思った。グループ討議の中では、全通研と何かと改めて訊かれるときちゃんと説明できない＝まずは自分が所属している組織のを知ることが必要との意見もあり、確かにそうだよなと思った。一般 北海道

ろう教育担当者のつどい

「ろう教育担当者のつどい」には、進行する理事3名を含め16支部の参加がありました。配布された資料には、権利条約の批准に伴い、文部科学省のHPから「第24条 教育」についての抜粋と、今までのつどいの記録が掲載されています。

各支部からは、①各県教育フォーラムの状況、②支部としてろう教育に関してどう関わっているのかなどの報告があり、各県の動きやろう学校の状況がわかりとても良い情報交換の場となりました。

さらに今回は、鳥取の邦弘さんから「鳥取県手話言語条例」が制定され、県内のすべての児童生徒（小中高）に無料で配布されるハンドブック、ろう学校の先生による普通学校への職員障害理解や手話についての出前講座など教育面でも大きな変化があることが報告されました。特にろう学校の先生方全員が受験料は県負担で手話認定試験を受験することが通達されることは私も含めてみなさん驚きました。

この動きが、少しでも全国に波及し私達の運動の力に励みになることを期待しています。一般 沖縄



昼食を食べながら



お初天神で交流会（高知チーム）

実行委員会のあいさつ

全通研討論集会 in 大阪にご参加の皆様、昨日、今日と2日間お疲れ様でした。昨晩は大阪の夜をお楽しみいただけましたでしょうか。夜の街でたまたま出会った高知の方々からはうまい、安い、早いとご好評を頂きました。皆様はいかがだったでしょうか。さて、今回は特に冬集会最後の開催ということもあってか、1260名を超える方々にご参加いただけました。有意義な2日間を過ごしていただけたものと確信しております。最後に本集会の成功に向けてご尽力いただいた全日本ろうあ連盟、全国手話通訳問題研究会の関係者の皆様、また実行委員の皆様、裏方で支えていただいた要員の皆様、そして最後に集会を盛り上げていただいた皆様、ありがとうございました。また、この夏の福島集会、再来年の統一集会でお会いできることを願ってお開きとさせていただきます。

速報担当からのお礼



15日



16日

大阪集会速報班は15日9名、16日12名合計21名の体制で作業しました。10号まで作り上げることができてホッとしました。至らない面もありますが、参加者の皆様のご協力で今までにない速報ができたことに誇りに思っています。ありがとうございました。

大阪集会速報班一同